

第7回 …本局支部定期大会が開催される…

二〇一〇年十月二十九日(金) 壬生操車場二階会議室にて第七回本局支部定期大会を開催しました。今大会は、植野職場代表委員の司会で始まり、役員を代表して松浦支部長より、これまでのお礼と今後更なる支部の団結をお願いする挨拶が述べられました。今大会の議長には、古川健史職場委員を選出し、本部長執行委員の中谷書記長より秋闘の状況と「どんどん仕事に愛着をもってほしい」との連帯の挨拶を受け一般経過報告に入りました。第一号議案の二〇〇九年度活動報告については早瀬職場代表委員、



挨拶に立つ松浦支部長



来賓挨拶を述べる中谷書記長

二〇〇九年度決算報告を紺谷副支部長、会計監査報告が中山職場委員からそれぞれ報告されました。続いて、二〇一〇年度の本局支部の方向性を示す、第二号議案二〇一〇年度運動方針案「歴史的な政交代が実現し、官僚主導から政治主導へと変わるなかで、ますます公務員に対する風当たりが厳しくなっている。交通局では地下鉄五万人増を掲げ、様々な取組をスタートさせた。労働組合のイメージも闘う組合から共に行動する組合へと変化しているが、京交本局支部はここで根本に立ち



運動方針に耳を傾ける代議員



…団結がんばろう…

たための団体として当局に對等の立場で要求していくべきだ」を足立支部書記長が方針を提案し、二〇一〇年度の要請事項を確認しました。第三号議案は紺谷副支部長から、昨今の厳しい財政状況を反映し、昨年度より収入・支出とも減額された二〇一〇年度の予算案が提案されました。最後に、第四号議案として本局



大会風景

支部救援規程の一部改正案が松浦支部長から提案され、各議案とも満場一致で採択されました。最後は、松浦支部長の力強い発声で「団結ガンパロー」を行い、私たち本局支部はこれからも一致団結し、各課題に取り組みでいくことを確認し、大会は終了しました。

市労連総決起集会 「2010年賃金確定闘争」大綱妥結

～2010年11月9日(火)18時15分から、市役所前広場に於いて、市労連に結集する構成単組の組合員1000人が集結し総決起集会が開催された～

冬の訪れを思わず寒さの中、総決起集会は瀬戸市労連副執行委員長の開会の挨拶で幕を開けた。最大動員で集結した京交組合員も、桜井(市労連)書記長の10月7日からはじまった「10確定闘争」にかかる経過報告、及び、学給労と京水労からの力強い決意表明に耳を傾け集会を盛り上げた。最後に、松田市労連執行委員長の発声による「団結ガンパロー」で集会を成功裡に締め括った。
※詳細は、市労連情報及び京交通信をご覧ください。



総決起集会に参加した組合員



司会を務めた瀬戸市労連副委員長(右)経過報告を述べる桜井市労連書記長

～韓国併合100年・安保50年～ 東アジアに新たな平和と友好を 憲法理念の実現をめざす第47回護憲大会 in 宮崎

十一月七日(土)～九日(月)の三日間の日程で、第四十七回護憲大会が九州の宮崎で行われました。「韓国併合一〇〇年・安保五十年東アジアに新たな平和と友好を憲法理念の実現をめざす第四十七回大会」をテーマに全国から約二五〇〇人が宮崎に結集し、京交からは中谷書記長と伴野電車副部長の二名が京都平和フォーラムの一員として参加しました。オープニングでは、日南在住の「民謡三姉弟」として有名な唄で始まり、その後主催者である江橋崇実行委員長より「本年は六十年安保から五十年、韓国併合一〇〇年という節目の年ですが、昨年誕生した新政



会場にて記念撮影

権は沖縄問題をはじめ期待に反して民意にこたえていないこと、また、東アジアと好に必ずし

川内博史 衆議院議員
も十分には向かっていないことなどを踏まえ、私たちは改めてどのような取り組みを進めるべきか。今後の見通しと共に、どう対応していくか。一など挨拶を述べられました。また、地元を代表して宮崎県実行委員会・小沼委員長より「宮崎で初めて行われる護憲大会成功に向け実り豊かな大会にする為、試行錯誤しながら準備を進めてきました。また、ご存知のように宮崎では今年四月に口蹄疫が発生しその被害は畜産業にとどまらず関連企業や観光業、またスポーツ・音楽開催などにも飛び火し莫大な被害をこうむり労働者の首切りなど多くの問題が発生しました」と話され、県内外から届いた義援金や激励・支援に励まされたことについてお礼を述べられました。来賓の社民党の福島瑞穂党首からは、「武器輸出三原則の見直しを北沢俊美防衛相が公言してはばからず非常に危惧している。武器を海外に売り経済の浮揚を図ろうとしているのなら間違い」と危機感を強く訴えました。次に実行委員会事務局の藤本泰成事務局長より「新しい政権のもとで憲法理念を推し進める可能性が大きく広がったと思ったが現実には難しい方向に進んでいます。私たちは変革への思いを確かなものにしていく為に新しい国のかたちを今こそ議論しなくてはなりません。日本の安全保障の課題としてこれからの東アジアの関係をどのように構築していくのかが重要であり議論すべき時なので」と基調提案されました。その後、講演とシンポジ



福島瑞穂 社民党党首



川内博史 衆議院議員

ウムが二時間半にわたりおこなわれ一日が終わりました。二日目は「韓国併合一〇〇年・安保五十年東アジアに新たな平和と友好を」を総テーマに七か所に分かれて分科会が開かれました。非核・平和・安全保障や歴史認識と戦後補償、人権確立や地球環境・憲法などが終日討論されました。三日目の閉会総会では、大会のまとめを藤本事務局長が行い、最後に大会アピールを参加者全員で確認し三日間の大会が終了しました。私たちは大会を終え「平和憲法」を世界にはばたかせる為にも、護憲大会の持つ意義は大きなものであると実感し帰路に着きました。



電車副部長 伴野敏之

ちよつとお勉強

豚にヒップホップを

音楽で生産増加に



ルワンダ北部の農場で、ブタにヒップホップやレゲエ、R&Bなどを聞かせるという新たな試みが、生産増加などの効果を挙げている。農場の責任者ジェラード・シナさんは、「人間は音楽が好きだから、動物にも聞かせてみようと思った」と説明し、「動物が気に入る音楽を選ばなければならぬ」と語った。

シナさんによると、このアイデアはベルギーで六年前に思い付いたもので、劇的な成果がみられている。音楽を聞かせて育てたブタは、音楽を聞かせなかったブタに比べ、二倍も子ブタを産んでおり、体重の増え方や肉質も良いという。

シナさんは、富を分配するという伝統的な方法に従って、毎月約一五〇匹の子豚を地元の人たちに提供しており、地域の貧困撲滅にも尽力している。

～京交エンパワメントプラン～

西賀茂支部

「みそのばしフェスティバル」 2010ゆるキャラ 活動報告

西賀茂支部では十月十七日(日)、地元商店街が開催する「みそのばしフェスティバル2010 with ゆるキャラ」イベントに多数の組合員が参加し、地域住民の足としての「安全・安心・快適」の市バスに関心を寄せていただく取り組みを行いました。

当日は秋晴れの中、バス一台をイベント会場に展示し、運転席での記念撮影やエンジンルーム見学などたくさんの方々にバスと触れ合っていたいただきました。普段何気にご利用いただいている市バスでも、やはり運転席は憧れの的らしく、特に子供さんには大人気でした。また、記念にガス風船をプレゼントしたことから一日中盛況で行列が途切れることなく、他のブースのスタッフから「何で市バスがそんなに人気あるんだ？」などと羨ましがられる場面にも遭遇しました。お越しいただいた方々の楽しそうな笑顔を見ていると、「まだまだ市バスも捨てたものじゃない。」「やはり市バスが京都の街には必要なんだ。」と改めて痛感しました。今回の取り組みを契機に、引き続き地域住民に愛される市バスになるため、「安全・安心・快適」の市バス運行に全力で取り組んでいこうと参加組合員全員と再確認しました。西賀茂支部は今回の活動に限らず、市バスの存在をより盤石にするため積極的に活動して参ります。最後に、参加していただいた支部組合員をはじめ、ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。



市バスの前をマーチングバンドが通過



宮井支部長もゆるキャラと記念撮影



ゆるキャラも市バスがお気に入り



ガス風船には長蛇の列



都ちゃん・京ちゃんも駆けつけました



参加記念バッジ

電整支部では、毎年十月十七日(日)行われている地下鉄醍醐車庫見学会にあわせてエンパワメント活動を実施しました。会場出口の一部スペースを借り、見学会にお越し頂いたお客様への感謝表明と、次回からの見学会をより良いものにするためアンケート調査に取り組みました。また、地下鉄ファンを増やすことを目的に、お子様には参加記念の缶バッジを配布しました。当日は季候もよく、午前・午後にわたり組合員延べ十名での取り組みとなりました。お客様から「地下の車庫を見学できてよかった」とや「ホームドアで隠れている電車を間近で見られてよかった」など生の声を直接聞くことができ、普段お客様と接する機会が



ブースを設けて受付しました



子どもたちに大人気でした

少ないこともあって、とても有意義な時間を過ごすことができました。一〇〇名を超える参加者でアンケート二〇〇部、缶バッジ八〇〇個を用意していたのですが、予定より早くなくなり、バッジのもらえなかった子供たちがいるなど反省点はいくつかありますが、反省点とアンケート結果を踏まえて今後に生かして行きたいと思えます。当日参加した組合員は数人ですが、準備段階からたくさんの方の組合員の協力により、これだけの取り組みが出来たことには大変感謝しております。今後もこのような活動を続けていきたいと思っておりますので、ご支援・ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

電整支部 「第13回 地下鉄醍醐車庫見学会」活動報告

嘱託部

九月二十三日(木曜)前線の影響により朝方から小雨模様となる中、今年もエンパワメント行動が取られ、四十五分四条河原町に各部署より十八名の部会員の方々がお集まり頂きました。早速、守ろう市バス・地下鉄の色付き絆纏を羽織り用意し、午前十一時、近藤嘱託部会長の行動開始合図により交差点四隅へ分かれ今年も「お出かけ、観光の際はエコな市バス、地下鉄でおいでやす」の新イラスト入りティッシュと、路線図、小さなグッズの三点セットを持ち、各自精力的に行き交う方々に宜しくとお渡し致しました。秋分の日で有り徐々に人ごみも増え、あちらこちらで立ち止まり注目される中、「頑張ってください、どんどん利用致します」とにこやかにご支援の温かいお言葉等も多く賜り手を差し伸べて頂きました。又、同僚乗務員からも応援の会釈の仕度も頂きました。約三十分間キャンペーンを続けました。私達の職場を取り巻く環境が一段と厳しくなる中、少しでも乗客増に向かえば誠に意義ある行動で有ったと思っております。

・・・組合員の皆様大変ご苦労さまでした。・・・



子どもたちにも丁寧に接しました



エンパワメント H.22.9.23 四条河原町

参加者全員で記念撮影

都中交 関西地本 「二〇一〇・青年女性セミナー」 in 神戸

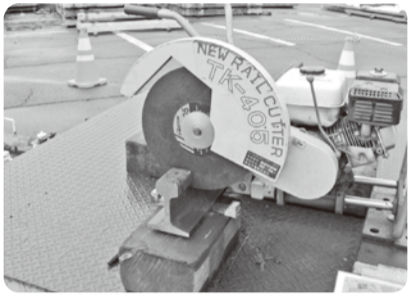
二〇一〇年十月三十日(土)、都交関西地本「二〇一〇・青年女性セミナー」が神戸で開催されました。冒頭、松下正広(大阪) 関西地本青年女性委員長から、「セミナーを通じて震災の学習を行うことにより過去の教訓を再認識していただく」と、また、翌日には神戸交通労働組合青年女性委員会が起点となり、「BIRRED」と題した交通フェスティバルを見学して感じ取ったことを各単組に持ち帰って活用していただきたい。」と主催者挨拶が述べられました。セミナーの内容については、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センターにおいて語り部の飄芳夫(ひさこ)よしお)講師に「阪神・淡路大震災を語り継ぐ」震災体験を講演していただきました。その後、迫力あるシアターで実際の状況に近い震災を体験するとともに、記憶フロアでは数多くの参考資料を見学しました。翌日は、交通フェスティバル in 名谷車両基地に於いて「BIRRED」の見学後、神戸交通労働組合の北山執行委員長に「People are everything (人こそすべて)」について講話をいただき、まとめ集会で青年女性セミナーを終了しました。

都市交関西地本二〇一〇 青年女性委員会セミナーに参加して

十月三十、三十一日に神戸で開催された二〇一〇青年女性セミナーに参加しました。久しぶりの交流とあって懐かしい気持ちでいっぱいになりました。一日目は開会式の後、人と防災未来センター職員・飄芳夫さんの「阪神・淡路大震災を伝える」という講演を聞きました。その中で、飄さんは震災直後のコミュニケーションの弱さについて熱く語られていました。ある住宅が密集している都心部では助けられた人の割合が低く、淡路島のある田舎の町では助けられた人の割合が高く死者の割合が低くなっています。これは都心部では近所付き合いが低く関心もないた

め、どこに誰が住んでいて、どのような生活をしているかお互い関心がないためです。一方、田舎の町では、普段の生活を把握しているのが早期の救出に繋がったとおっしゃっていました。これを聞いてやはり普段の近所付き合いを大切に、コミュニケーション力を身につけていかなければならないと感じました。終了後は人と防災未来センターを見学しました。一・一七シアターでは地震破壊のすさまじさを迫る大型映像と音響で体感しました。かなりリアルに再現されていてビルや建物が倒壊していく様子、高速道路や鉄道の高架が倒れる様子など想像を絶する恐怖を覚えました。今からでも決して遅くはないので、防災に関して真剣に考えなければならぬと思いました。二日目は「交通フェスティバル in 名谷車両基地」(BIRRED)の見学に参加しました。これは神戸市交通局が、普段は一般の人が入場できない「名谷車両基地」を公開するという企画です。市バス・地下鉄運転台見学や、軌道検測車の試乗、洗車体験などといった内容です。特に印象に残ったのは、運転士研修用のシミュレータを体験できたことです。私も丸丸線の運転士ですが、運転台の形状やブレーキ操作が都市によって異なる点が面白かったです。京都でももっと盛大にこういう企画をしてほしいと思いました。見学終了後は、神戸交通労働組合・北山善仁執行委員長

の講演を聞き、長年の講義に耳を傾けました。講演の中で、ストラスブル市の話が印象に残りました。た。ストラスブル市は街の中心部は原則、車が乗り入れ禁止となり、変り、変りとしてLRTが発達し、パークアンドライドの駐車場やカーシェアリング用の駐車場、駐輪場、自転車専用道路、歩道が見事に整備されているそうです。そして料金システムが画期的で、例えば駅までマイカーで行き駐車料金を支払うだけでマイカーに乗っている人数分のLRTチケットが貰える制度を取り入れているらしく、これだと環境にも財布にも優しいと思います。この話を聞いて一度ストラスブル市を訪れたいと思いました。この二日間かなり中身の濃いセミナーとなりました。今回学んだことを職場やまわりの人々に伝えていきたいと思っています。



レールカッター



運転シミュレータを体験

青年女性委員 前崎浩崇

今回のセミナーは、阪神・淡路大震災記念の「人と防災未来センター」そして、地下鉄西神・山手線の名谷車両基地を見学し、関西の都市交通の方々と意見を交わす交流を深めてきました。神戸の街は人が多く、また賑やかで、非常に活気があるなあと感じました。阪神・淡路大震災から約十五年が経過した現在、神戸の街は復興が起ったのかと思うほど不思議な気持ちになりました。最初に「人と防災未来センター」を見学し、語り部による震災時の体験談を傍聴しました。地震発生直後の様子や復興についてのお話を聞き、本当に胸がいっぱいになりました。その当時、私は高校生でしたが、テレビや新聞などで震災の状況を見て、本当に想像を絶する気持ちになった記憶が甦ったからです。



神戸市バス

家屋が倒壊して、そこから救助される場面や大きなビルや駅舎、道路なども一瞬にして崩壊していく場面など、自然災害の恐ろしさを震災発生時の再現VTRや、その時に発見された生活用品の一部や写真などつぶさに見ることができました。都市部で大地震が発生すると、被害も拡大し、犠牲者も多くなってしまうので、当時のことを思い出し、ありませんが、全国からボランティアの方々が訪れ、被災者を励まし、食料援助など様々な面でバックアップをされて、今日の復興に繋がっている現状を見た時、人間の力に感心してしまいます。日本列島では、あらゆる所で断層が走っており、どこで大地震が発生してもおかしくない状況にあります。日常生活でも、大地震が発生した時の対処法や非常持ち出し品などを固めて準備しておくことが大切だと思います。翌日は、交通フェスティバルが開催されている名谷車両基地を訪れました。鉄道模型や運転模擬体験のコーナーなどもあり、内容も非常に充実し家族連れで賑わっていました。また、子供たちの喜ぶ姿がすごく印象的でした。今回のセミナーでは、命の大切さを学ぶことができ、「震災の記憶と命の尊さ」を未来に語り継ぐことが大切であり、この震災を絶対に風化させてはいけなく強く感じました。これを教訓にして、日頃から非常事態が発生しても、落ち着いて行動できるように準備することが重要であり、みんなで協力し合っ

て、お互いに助け合いの心を持つことが大切だと思います。

青年女性委員 小足紀彦

壬生の今

しばらくお休みしていましたが再開しました。いよいよ工事が始まり、とすると圧迫感があり、広々とした空間が瞬く間になくなっていきます。四条大宮のど真ん中であるような広い土地を間近で見るとはもうないでしょうね。



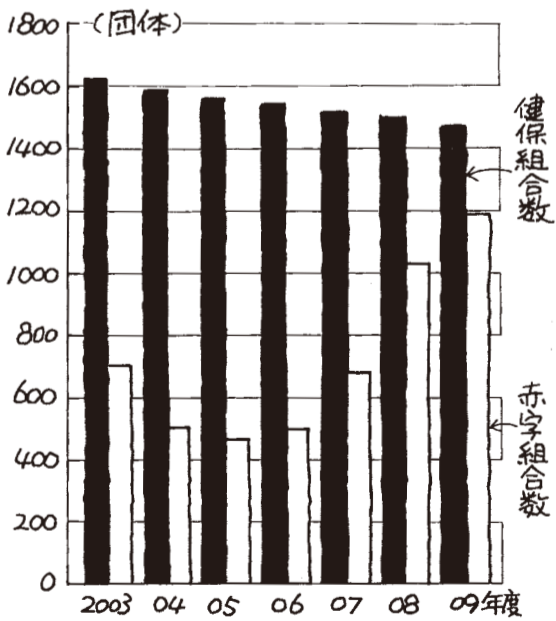
11月11日現在

UP DOWN

高齢化社会で負担増赤字健保組合が8割に

高齢者医療向けの拠出金が健保組合を圧迫し、保険料に占める割合も二〇〇〇年度38・4%だったものが二〇〇九年度には過去最高の45・6%に達した。景気悪化で保険料収入も減少し、赤字へと転落する健保組合が年々増加。その数は全体の八割となった。さらに負担に耐えきれず解散へと追い込まれた組合もこの十年で三〇〇を数える。進行する高齢化社会。社会保険と税のバランスなど考えなければならぬことが山積している。

健康保険組合数と赤字組合数の推移



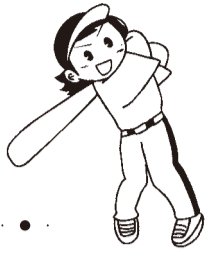
2010年9月24日 毎日新聞

厚生会文化体育共同事業



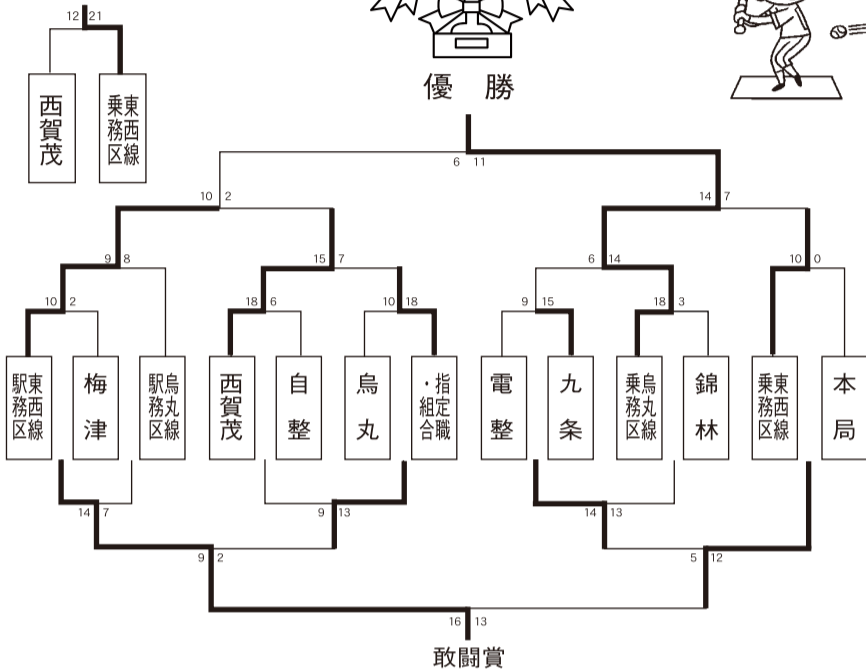
ソフトボール大会

～秋空の下、熱戦が繰り広げられる～



……烏丸線乗務区2連覇！ 全試合で圧倒的勝利を収める……

【3位決定戦】



二〇一〇年十月二十三日(土)、秋晴れの空の下、各所属から選抜された選手並びに応援団総勢三〇〇名余りが宇治川グラウンド野球場に集結し、一年に一回の本番で練習の成果を発揮すべく随所で白熱した闘いを繰り広げました。試合に先立ち、葛西厚生会会長並びに瀬戸執行委員長から挨拶を受け、前年度優勝の烏丸線乗務区から優勝カップ返還、続いて抽選でA-1を引き当てた東西線乗務区斎藤弘樹選手から選手宣誓が声高らかに行われました。今大会は前評判が高かったとはいえ、全試合に於



京交瀬戸執行委員長



厚生会代表葛西管理者

いて圧倒的な勝利を収めた烏丸線乗務区が大会二連覇を果たした力の差を見せつけました。また、地下鉄の所属が上位を独占したことから、次年度自動車部ならびに本局の奮闘を期待するところですが、烏丸線乗務区の三連覇阻止に向けて各チームとも練習に励みましよう。お疲れさまでした。



前年度優勝カップ返還 烏丸線乗務区 斎藤選手



選手宣誓 東西線乗務区 斎藤選手



開会式の様子



準優勝 東西線乗務区



優 勝 烏丸線乗務区



3 位 東西線乗務区



胴上げで宙を舞う烏丸線乗務区 田中支部長



ナイスバッティング??



敢闘賞 梅津営業所



素晴らしいバッティングフォーム

